

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34204	情報資源組織演習(分類) Organization of Library/ Information Resources : Classification	江良 友子	専門	1	選択	1・2年 後期

科目の概要

「情報資源組織論」で学んだ資料組織の基礎理論に基づく主題目録法の演習科目として「日本十進分類法」と「基本件名標目表」の考え方を理解する。また、多くの練習問題に取り組むことで分類・件名の与え方を身につける。難しい問題に粘り強く取り組むことで自己研鑽し、社会で貢献できる力を身につける。

学修内容	到達目標
① 日本十進分類法の概要を理解する	① 日本十進分類法の本表と階層構造を説明することができる
② 主題分析について理解する	② 主題の特定ができ、関連索引を使用することができる
③ 補助表について理解する	③ 形式区分、地理区分、海洋区分、言語区分について理解し、分類することができる
④ 固有補助表について理解する	④ 言語共通区分以下 10 区分について理解し、分類することができる
⑤ 分類規定の基本を理解する	⑤ 複数主題の分類を理解し、資料に分類番号を付与することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	図書館や書店に日常的に足を運ぶことができる。
	働きかけ力	
考え抜く力	実行力	自分が考えた分類と異なる分類がされた資料について、なぜそうなっているかを考え、わからなければ質問することができる。
	課題発見力	身近な図書や雑誌は何に分類されるかについて、生活しながら考えることができる。
チームで働く力	計画力	
	創造力	自分の本棚の資料の分類を考え、配架できる。
	発信力	自分の考えた分類を、授業の中で発表できる。
	傾聴力	授業の中で他の人の発表を聞き、考察し、アドバイスすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。
	ストレスコントロール力	テストが多いため、緩急をつけながら学ぶことで自分の気持ちを調整できる。

テキスト及び参考文献

テキスト: 講義用レジュメおよび必要に応じて追加資料を配付する。
『日本十進分類法』新訂10版 日本図書館協会 2014年 (授業の中で貸出する)
『図書館資料の目録と分類』増訂第5版 日本図書館研究会 2015年 1,188円 が手元にあると学習しやすい。(購入は自己判断とする)。
参考資料:『情報資料組織法』志保田務 著 第一法規 2012年 2,808円

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 図書館に関する科目全て 特に、情報資源組織論と情報資源組織研修(目録)
資格との関連: 図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
前期開講の「情報資源組織論」の授業を受講していないと理解することが難しい授業内容であるため、情報資源組織論未履修者は事前に相談に来ること。 授業内でテストをすることが多いので、復習に時間をかけて計画的に学習すること。 テスト日に欠席しない(授業内テストで9割評価するため、当日欠席すると単位の取得が難しくなる)。	遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 貸出をする『日本十進分類法』は、毎回持参すること。 各分類の特徴発表を全員に割り振るので、A4レジュメ1枚にまとめて各自発表指定された前週までに提出すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト (授業内)	90	①	✓	時間中に3回のテスト(評価:30×3)を行い、その結果で評価する。 毎回行う確認テストは評価の参考とする。 ポイント①分類記号の基本手順理解 ②本表(細目表)が理解できている ③分類表の階層構造が理解できている ④主題の特定ができている ⑤関連索引が使用できる ⑥形式区理解できている ⑦地理区分・海洋区分が理解できている ⑧言語区分・言語共通区分が理解できている ⑨文学共通区分・地理的論述の細区分が理解できている ⑩固有補助表が理解できている ⑪複数主題の分析ができる ⑫所蔵事項としての分類記号が理解できている
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)テスト勉強に自主的に取り組むことができる (実行力)理解できない問題にわかるまで取り組むことができる (課題発見力)身の回りにある本の分類を考えることができる (創造力)自宅にある本や社会で話題となっている本を使用して、本の分類を考えることができる (発信力)各分類の特徴を授業で発表できる (傾聴力)講義を聞き、わからない部分を質問することができる。 (規律性)毎回の授業内容を理解できるまで復習することができる ※上記の7項目は、実行力を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			小テストと学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
S(秀)評価 ・筆記試験において小テストのポイントで示した①～⑫全て理解できており、正確な分類記号が付与できる。 ・社会人基礎力の7項目が達成できている A(優)評価 ・筆記試験において、小テストのポイントで示した①～⑫のうち11項目以上理解できており、正確な分類記号が付与できる。 ・社会人基礎力の7項目のうち6項目以上達成できている	B(良)評価 ・筆記試験において小テストのポイントで示した①～⑫のうち、9項目以上理解できており、正確な分類記号が付与できる。 ・社会人基礎力の7項目のうち5項目以上が達成できている C(可)評価 ・小テストのポイントで示した①～⑫のうち、7項目以上理解できており、正確な分類記号が付与できる。 ・社会人基礎力の7項目のうち4項目以上が達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 分類記号について	講義と質疑応答	分類記号とは何か説明することができる 書誌コントロールの意味を知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す 書誌コントロールとは何かについてまとめる	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
2週 /	主題分析 分類記号を付与する方法	講義と質疑応答	「日本十進分類法」とは何か説明することができる	(復習)配布した資料を読み返す 森清について調べる	90	発信力 傾聴力 規律性
3週 /	主題分析 細目表 階層構造	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 講義と質疑応答	単純な分類ができる 森清とはどのような人物か知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す 分類記号付与の基本手順を覚える。	90	発信力 傾聴力 規律性
4週 /	主題分析 主題の特定 関連索引	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 0・1類について発表 講義と質疑応答	階層概念が理解できる 索引の種類を言うことができる 0・1類の特徴を言うことができる	(復習)配布した資料を読み返す 階層構造で使用されている記号を覚える	90	発信力 傾聴力 規律性
5週 /	補助表 形式区分	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 2類について発表 講義と質疑応答	形式区分の種類を知ることができる 2類の特徴を言うことができる	(復習)配布した資料を読み返す 第一次区分の概要を理解する	90	発信力 傾聴力 規律性
6週 /	補助表 地理区分・海洋区分	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 3類について発表 講義と質疑応答	地理区分と海洋区分を知ることができる 3類の特徴を言うことができる	(復習)配布した資料を読み返す 地理区分と海洋区分の使い方を理解して分類できるようにする	90	発信力 傾聴力 規律性
7週 /	補助表 言語区分・言語共通区分	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 4類について発表 講義と質疑応答	言語区分・言語共通区分を知ることができる 4類の特徴を言うことができる	(復習)配布した資料を読み返す 言語区分・言語共通区分の使い方を理解して分類できるようにする	90	発信力 傾聴力 規律性
8週 /	補助表 文学共通区分	前回分確認小テスト 答合わせ、フィードバック 5類について発表 講義と質疑応答	文学共通区分を知ることができる 5類の特徴を言うことができる	(復習)配布した資料を読み返す 文学共通区分、地理的論述の細区分、その他の固有補助表について理解して分類できるようにする	90	発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	主題分析と補助表についての確認テスト	テスト	<ul style="list-style-type: none"> 分類記号の位置付け 日本十進分類法 分類記号付与方法 主題分析 関連索引 補助表 以上について理解し、分類記号を付与できる	(復習) 第1～8回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直すこと	180	主体性 ストレス コントロール力
10週 /	前回テスト答え合わせ 分類規定 複数主題(1)	答え合わせ、フィードバック 6類について発表 講義と質疑応答	テストで不正解だった箇所についてなぜ間違えたか理解できる 復習主題がある場合の考え方を理解することができる 6類の特徴を言うことができる	(復習) 配布した資料を読み返す 返答された答案の見直し。 対等と相互作用の関係について整理する	90	実行力 傾聴力 規律性
11週 /	分類規定 複数主題(2)	前回分確認小テスト 答え合わせ、フィードバック 7類について発表 講義と質疑応答	復習主題の分類ができる 7類の特徴を言うことができる	(復習) 配布した資料を読み返す 重点処置と原著者・関連著作について整理する	90	発信力 傾聴力 規律性
12週 /	分類規定 その他	前回分確認小テスト 答え合わせ、フィードバック 8類について発表 講義と質疑応答	伝記の分類方法を理解することができる 8類の特徴を言うことができる	(復習) 配布した資料を読み返す 伝記の分類方法について整理する	90	発信力 傾聴力 規律性
13週 /	分類規定の確認テスト	テスト、フィードバック	分類規定の中の <ul style="list-style-type: none"> 複数主題 対等 相互作用 重点措置 原著者 関連著作 伝記 以上について理解し、分類記号を付与することができる	第10～12回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直す	180	主体性 ストレス コントロール力
14週 /	請求記号 図書記号 補助記号 別置記号	答え合わせ、フィードバック 講義と質疑応答 9類について発表	所蔵事項としての分類記号を理解することができる 9類の特徴を言うことができる	(復習) 配布した資料を読み返す。 返答された答案の見直し。 対等と相互作用の関係について整理する	180	実行力 傾聴力 規律性
15週 /	総合テスト	テスト、フィードバック	これまで学んだ内容を理解できている(6割以上正解ならば合格とする)。	第1～14回の授業内容を復習するとともに、小テストで間違えたところを見直す	90	主体性 ストレス コントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力